

1 鳥取市のすがた

(1) 背景

日本一の鳥取大砂丘を有する「鳥取市」は、中国山地から日本海へ北流する千代川流域にひらけた鳥取平野の東部に、古く城下町として生まれ、江戸時代は、鳥取藩池田家32万石の城下町として栄えた。明治22年10月1日市制を施行し、以来県都として、また、山陰地方東部の中核都市として、政治、経済、文化の中心となり発展をしてきた。

大正時代の千代川の度重なる氾濫、昭和18年の鳥取大地震、昭和27年の鳥取大火など幾度となく大災害に見舞われたが、その都度粘り強い市民の精神力と努力により立ち直ってきた。

その後、都市の近代化に積極的に取り組み、昭和53年に鳥取駅高架事業が、昭和55年には鳥取駅前土地区画整理事業が完成し、鳥取駅周辺の整備を行ったほか、平成11年3月には、産・学と調和のとれた住環境である鳥取新都市（ついのニュータウン）開発整備事業が完了した。

交通網の整備については、昭和42年の鳥取空港完成、平成6年12月の智頭線開通により首都圏および近畿圏とのアクセスが短縮されたほか、高速自動車道として中国横断自動車道姫路鳥取線が、早期開通を目指し順次整備が進められている。

産業の振興については、地域産業の振興や企業誘致に積極的に取り組んでおり、電気機械工業を中心とした製造業が盛んであるほか、二十世紀梨や松葉ガニなどの特産品を産する農林業の振興にも積極的に取り組んでいる。

さらに、高齢化社会への対応として社会福祉施設などの整備・充実、文化施設として、世界のおもちゃなどを展示した「わらべ館」および鳥取市歴史博物館「やまびこ館」を整備したほか、教育面においては、平成13年4月に環境をテーマとした鳥取環境大学が開学した。

人口については、市制施行後順調に増え続け、平成12年10月の国勢調査により15万人都市となり、平成16年11月1日には鳥取県東部の6町2村との市町村合併により、山陰地方で初めて20万人を超える都市となった。

まちづくりの目標である「人が輝き まちがきらめく 快適・環境都市 鳥取」、山陰の発展をリードする中核都市の実現に向かってさらなる発展を目指している。

時代	西暦	年号	主 な で き ご と
戦国	1545	天文14	山名誠通 久松山に築城 (因幡民談記による)
	1573	天正元	山名豊国 天守櫓築城 (城下町鳥取誕生)
桃安 山土	1581	天正9	吉川経家 羽柴秀吉鳥取城包囲により落城
江戸	1617	元和3	池田光政 姫路より城主として入城 (32万石)
	1632	寛永9	池田光仲 岡山より城主として入城 (池田家初代)
	1867	慶応3	池田慶徳 大政奉還 (12代)
明治	1889	明治22	市政施行
	1896	29	鳥取40連隊設置
	1907	40	仁風閣建築 (皇太子を迎える)
	1912	45	山陰鉄道 京都～出雲間 (現在の山陰本線) 全通
大正	1912	大正元	千代川氾濫による大洪水
	1915	4	上水道給水開始
	1918	7	千代川氾濫による大洪水
	1921	10	鳥取高等農業学校 (現在の鳥取大学) 開校
	1923	12	千代川氾濫による大洪水
	1925	14	駅前に温泉湧出
昭和 和	1930	昭和5	千代川の大改修完成
	1943	18	鳥取大地震 (M.7.3 死者1,025人)
	1949	24	鳥取大学発足
	1952	27	鳥取大火災 (焼失面積1.6km ²)
	1953	28	15村合併により市の行政基盤固まる (人口6万3千人から9万9千人へ)
	1955	30	鳥取砂丘天然記念物に指定
	1958	33	" 国立公園に指定
	1964	39	市庁舎完成、釧路市と姉妹都市提携
	1967	42	鳥取空港完成
	1972	47	姫路市と姉妹都市提携
	1978	53	鳥取駅高架化完成
	1983	58	ついのニュータウン事業実施基本計画の認可 (9月8日)
	1985	60	鳥取南バイパス、駅南広場完成、ジェット機就航、第40回国体 (わかとり国体) 開催
	1986	61	鳥取港一部供用開始
1988	63	人口14万人突破 (7月23日)	
平成 成	1989	平成元	市制施行100年、'89鳥取・世界おもちゃ博覧会開催、市第2庁舎開庁
	1990	2	韓国・清州市と姉妹都市提携 (8月30日)、鳥取港全面供用開始
	1991	3	鳥取砂丘の草原化対策に着手 (除草実験・松の抜去)
	1992	4	老人保健施設「やすらぎ」、「新産業創造センター」竣工
	1995	7	市立病院の新築移転、わらべ館の開館 (7月7日)
	1997	9	「東部広域リファーレンいなば」、「鳥取県東部環境クリーンセンター」竣工
	1998	10	第22回全国育樹祭をとっとり出合いの森で開催、水道局庁舎新築移転
	1999	11	鳥取新都市 (ついのニュータウン) 開発整備事業完了
	2000	12	鳥取市歴史博物館「やまびこ館」の開館 (7月1日)
	"	"	農村型CATV (いなばぴょんぴょんネット) 開局 (7月1日)
	"	"	人口15万人突破 (10月1日国勢調査)
	2001	13	鳥取環境大学開学 (4月1日)、障害者福祉センター「さわやか会館」開館 (5月23日)
	"	"	ドイツ・ハーナウ市と姉妹都市提携 (11月20日)
	2002	14	ワールドカップサッカー・エクアドル代表チームがキャンプ
	"	"	国民文化祭・とっとり2002開催 (10月・11月)
	"	"	男女共同参画センター「輝(き)なんせ鳥取」オープン (10月6日)
	2003	15	個人情報保護制度スタート (4月1日)
"	"	市民活動推進センター「アクティブとっとり」オープン (7月13日)	
2004	16	国府町、福部村、河原町、用瀬町、佐治村、気高町、鹿野町および青谷町を編入合併(11月1日)	
"	"	市駅南庁舎開庁	
2005	17	駅南庁舎2階に市中央図書館移転開館	